

## ➤ 27日 水曜

### 黙示録

5:1 また私は、御座に着いておられる方の右の手に巻物を見た。それは内側にも外側にも字が書かれていて、七つの封印で封じられていた。

5:2 また私は、一人の強い御使いが「巻物を開き、封印を解くのにふさわしい者はだれか」と大声で告げているのを見た。

5:3 しかし、天でも地でも地の下でも、だれ一人その巻物を開くことのできる者、見ることのできる者はいなかった。

5:4 私は激しく泣いた。その巻物を開くにも、見るにも、ふさわしい者がだれも見つからなかったからである。

5:5 すると、長老の一人が私に言った。「泣いてはいけません。ご覧なさい。ユダ族から出た獅子、ダビデの根が勝利したので、彼がその巻物を開き、七つの封印を解くことができます。」

5:6 また私は、御座と四つの生き物の真ん中、長老たちの真ん中に、屠られた姿で子羊が立っているのを見た。それは七つの角と七つの目を持っていた。その目は、全地に遣わされた神の七つの御霊であった。

5:7 子羊は来て、御座に着いておられる方の右の手から巻物を受け取った。

「巻き物を開き、封印を解く」とは、借金を肩代わりしてくれた人が、負債の証書を開いて手続きをすることを意味します。「巻き物を開く者がいなかった」ということは、誰も負債を肩代わりする者がいなということで、つまり私たちの罪の負債を負ってくれる人がいないということです。「私は激しく泣いた。」とあります。それくらい罪の赦しに関して敏感に感じられるようでありたいものです。



「ダビデの根」とはダビデの家系から生まれたイエス様です。この小羊イエス様が巻き物を受け取ったのです。なんと感謝なことでしょうか。罪の負債が赦されたことへの感謝と感動を忘れないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

